

日本祭りにおける和菓子ワークショップ（米国・ミシガン州ノバイ市）

開催日： 平成28年10月2日
場 所： ノバイ高校 160教室
主 催： 在デトロイト総領事館

在デトロイト総領事館

【イベント概要】

当地最大級の日本祭り(地元コミュニティーより約4000人参加)である「ノバイ日本祭り」の会場の一室にて、来場者参加型のワークショップを実施し和菓子のPRを行った。当館館員によるプレゼンテーションでは、洋菓子との違いや、日本の四季を表現する和菓子の文化的側面、そして健康的なスイーツとしての和菓子の魅力をPR。続いて公邸料理人が電子レンジを使用した苺大福の作り方やコツをデモンストレーションした上で、来場者が実際に苺大福づくりを体験した。実施にあたっては、カリフォルニアに拠点を置く Imuraya USA, Inc. の提供によるつぶあんペーストを使用し、教室内では同社の作成した小豆の紹介用広報資料や海外向け広報資料「にぽにか：菓子特集号（no.12）」等を展示・配布した。



【提供された日本食に対する参加者の反応】

当館プレゼンターの質問に対し、来場者の多くが和菓子を食べたことがあると回答したが、自分で和菓子を作ったことはないという人がほとんどであったところ、簡単な具材で気軽に作ることができる苺大福は参加者に大変好評であった。また、参加者の中には、小豆を一度も食べたことがないという米国人もいたが、自分の手作り大福を試食して、とても美味しかったとコメントしていた。参加者はプレゼンテーションも熱心に聴講しており、特に、「和菓子は五感で楽しむもの」を説明する際に使用した四季折々の美しい練り切りを紹介する映像を興味津々に見入っていた。参加者は親子連れや学生が中心であり、会場内に設置したフォトブースにて自分のオリジナル苺大福を撮影したり、広報ブースに設置した資料を閲覧する様子が覗えた。

